

平成28年度 予 算 概 要

平成28年度社会福祉事業区分の当初収入予算額は387,770千円で、平成27年度と比較して4,440千円(1.1%)の増額となっています。増額の主な要因は、介護報酬収入の減収が見込まれるものの、あんしんセンター事業(成年後見事業)や地域包括支援センター事業の拡充に伴う補助金及び指定管理料の増収によるものです。

支出においても、主に前述の人件費支出増額等により、平成27年度当初支出予算額361,082千円と比較して、平成28年度は369,142千円となり、8,060千円(2.2%)の増額となっています。

このように、平成28年度予算は平成27年度と比較して収支ともに増額を見込んでいますが、その主な理由は職員の増員に伴う人件費の増であり、自主財源である会員会費収入や寄附金収入、共同募金配分金収入については前年度と同様増額が見込めないため、財政的には引き続き厳しい状況であると捉えています。

このような中で平成28年度は、収入面においては昨年度に引き続き大和市自治会連絡協議会や大和商工会議所の協力を得ながら会員加入の促進を行います。また、まごころデイサービスセンター事業については、サービス内容の充実や地域関係者への積極的なPRにより利用者増を図り、介護報酬収入の増額を目指します。

支出面では、第5次地域福祉活動計画に基づく地域アセスメントの実施、あんしんセンター事業の拡充、地域包括ケアシステムの構築に向けた介護予防・生活支援サービスに関する検討等、新たな事業にも取り組んでいきます。厳しい財政状況を勘案し、コスト削減意識をもって予算積算をしていますが、すべての事業及び事務において、効率的な執行に努めます。

収益事業については、社会福祉会館の閉館や生涯学習センターの移転に伴う設置自動販売機数の減少により販売手数料の減収を見込んでいますが、業者との調整により自販機の機種や商品等の工夫を図るとともに、新たな収益事業のあり方等についても引き続き検討していきます。

平成28年度 法人全体資金収支予算（支出予算） 拠点区分別 概要

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

(単位:千円)

		平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	増減額	主な事業の内容
					主な増減の理由
1 社会福祉事業区分 合計		361,082	369,142	8,060	
(1)	法人運営事業	125,310	132,434	7,124	法人運営(役員会・人事・労務・経理等)、退職金積立事業、善意銀行運営事業等 人件費、備品購入費等の増
(2)	共同募金配分事業	12,635	11,959	-676	福祉団体、学校、ボランティアグループ等への募金配分 配分金、拠点区分間繰入金支出等の減
(3)	企画広報啓発事業	23,977	26,020	2,043	顕彰表彰事業、企画広報啓発事業、会員募集事業等 拠点区分間繰入金支出等の増
(4)	ボランティア活動事業	7,589	7,916	327	ボランティアセンター運営、ボランティア講座の開催、ボランティアセンター相談情報事業、ボランティア活動広報紙の発行、地区社協活動支援等 助成金支出等の増
(5)	地域援護事業	23,749	20,871	-2,878	交通遺児援護事業、災害見舞金の給付、車椅子の貸出し、ひまわり相談、緊急貸付事業、生活福祉資金貸付事業、生活困窮者自立相談事業等 啓発物品経費、電話設定等生活困窮事業経費の減
(6)	あんしんセンター事業	6,581	6,247	-334	県委託・市補助事業(大和あんしんセンター運営)、成年後見専門相談、法人後見事業 人件費、車両賃借料等の減
(7)	在宅援護委託事業	27,475	26,517	-958	市委託事業 ・手話奉仕員及び手話通訳者養成 ・生活支援型配食サービス事業 ・ひまわりサロン事業 ・ふれあい訪問・ミニサロン事業等 サロン人件費、配食サービス食数等の減
(8)	介護保険事業	9,916	10,289	373	介護保険事業(ケアプラン作成等) 新システム賃借料の増
(9)	指定管理事業	123,850	126,889	3,039	指定管理事業 ・まごころ地域福祉センター管理運営 ・高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 ・高齢者デイサービス事業 ・子育て支援センター運営 ・地域包括支援センター運営 人件費の増
2 収益事業区分 合計		7,420	9,196	1,776	
(1)	収益事業	7,420	9,196	1,776	飲料水等の自動販売機設置、不要入れ歯リサイクル事業還元金 光熱水費、前期末支払資金残高の増
法人全体 合計		368,502	378,338	9,836	

※支出予算の比較(当期末支払資金残高は含めず)